

令和4年度

第3回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 資料

令和5年1月

岩見沢市企画財政部企画室

協議事項

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業は、国土交通省が実施する、地域の多様な主体の連携・協働による、地域の暮らしや産業に不可欠な交通サービスの確保・充実に向けた取組みを支援する事業です。

協議会等が、生活交通確保維持改善計画に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認や目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的及び効率的に推進されることを目的とします。

国庫補助を受けた（受ける予定の）事業については、協議会において事業の実施状況を確認・評価し、市のホームページ等で公表するとともに、国土交通省北海道運輸局へ報告することとなっています。

評価対象事業

幹線バス等の地域間交通ネットワークと接続し、支線として運行する地域内のバス交通等に対する支援。

【評価対象事業】 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

〔対象系統：かえで団地循環線、日の出台・栄町循環線、鉄北循環線、南町・春日循環線
東部丘陵線〕

【評価対象期間】 令和3年10月1日～令和4年9月30日

事業評価

①補助対象事業者等	②事業概要 ※補助対象となる系統	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の 適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
北海道中央バス(株)	かえで団地循環線 日の出台・栄町循環線 鉄北循環線 南町・春日循環線	- バスを含む、市内公共交通の利用促進を目的として、市広報誌に特集記事を掲載した。 - 市内の小学校に通う児童からバスに関する絵を募集し、集まった作品をバス車内に展示する「バスの絵募集キャンペーン」を実施した。 ※応募総数：385作品	計画通り事業Aは適切に実施された。	B ダイヤ調整や減便などの見直しにより効率的な運行ができたが、新型コロナウイルス感染症による影響や冬期間の大雪による運休など、安定的な運行の維持が難しい状況も発生した。 【市内線の利用者数】 - 目標値（R4）：850,000 人/年 - 実績値（R4）：565,758 人/年	新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減に対して、新たなバス利用者の獲得を目指し、バスに興味を持ってもらい、利用したくなるような取組みを検討していく必要がある。
日の出交通(株)	東部丘陵線		計画通り事業Aは適切に実施された。	B 目標値には達していないものの、東部丘陵地域において、令和4年3月末に廃止されたバス路線の代替交通として、住民の生活上、必要不可欠な移動手段を確保することにより、通院・通学・買い物など多くの利用がある。 【東部丘陵線の目標】（R4.4～9） ①利用者数 - 目標値(R4)：7,000 人 - 実績値(R4)：6,473 人 ②経常収支 - 目標値(R4)：▲6,172千円以内 - 実績値(R4)：▲8,380千円 ③自治体の本事業に対する負担額 - 目標値(R4)：4,000千円以内 - 実績値(R4)：4,632千円	

地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）

岩見沢市は、北海道の中西部に位置する空知管内の中心都市であり、人口は76,753人（令和4年12月末現在）、総面積は481.02km²で、市域の西部には平野が広がり、東部には低山性の山々が連なっている。また、札幌市と旭川市を結ぶ国道12号、高速自動車道が通っており、札幌市まで車で約45分、新千歳空港を有する千歳市まで約60分の圏域である。

他の地方都市と同じように岩見沢市においても人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などによる路線バス利用者の減少が続いており、路線の維持確保のための市補助金の負担も増加していることから、平成27年1月に地域公共交通活性化協議会を設置し、同年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」、平成28年6月に「地域公共交通網形成計画」、平成29年6月には「地域公共交通再編実施計画」（同年9月8日に国土交通省の認定）を策定し、平成29年10月1日に主要な生活交通手段であるバス路線（北海道中央バス（株））の見直しを行った。令和2年度末をもって「地域公共交通網形成計画」の計画期間が満了したことに伴い、新たな公共交通のマスタープランとして令和3年6月に「地域公共交通計画」を策定した。

岩見沢市の公共交通においては、札幌や旭川と結ぶJR函館本線、苫小牧と結ぶJR室蘭線、南空知の他市町につながる地域間幹線系統を幹線として、それらと接続するフィーダー系統（市内：路線型）やデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

また、令和4年4月からは、岩見沢市の東側に位置する山間地域（通称：東部丘陵地域）において運行していた中央バス万字線及び市営バス万字線の廃止に伴い、新たな生活の足として、日の出交通（株）による「東部丘陵線コミュニティバス」の運行が開始されたところである。

市民の生活上、必要不可欠な移動手段を確保するため、地域公共交通確保維持事業により、路線バス（市内線）及び東部丘陵地域を運行する路線を確保・維持することが必要となっている。

報告事項

公共交通の利用促進に向けた取組みについて

●バスの日特別企画「バスの絵募集キャンペーン」作品展示会の開催について

岩見沢市内を運行するバスの利用促進に係る取組みの一環として実施した「バスの絵募集キャンペーン」について、市内の小学生から385作品の応募があり、9月中旬から10月末までの間、市内を運行するバス車内に展示しました。

昨年度に引き続き多くの応募があったことから、作品を一堂に展示する「バスの絵募集キャンペーン」作品展示会を下記のとおり開催しました。

【展示会場】 有明交流プラザ センターホール（岩見沢市有明町南1 JR岩見沢複合駅舎2階）

【展示期間】 令和5年1月7日（土）～15日（日）

【展示方法】 展示スペースに限りがあるため、応募作品を元にポストカードサイズのパネルを作成して展示



【作品展示会場の様子】



【周知ポスター】

●JR室蘭線「インスタお出かけコンテスト2022」の開催(JR室蘭線活性化連絡協議会実施事業)

沿線自治体の魅力や室蘭線の新しい利用方法を発掘するとともに、室蘭線に対する認知度や愛着度の向上を図るため、室蘭線を利用した観光、通学、ビジネスなどお出かけの利用方法をInstagramで募集しました。

下記のとおり応募があり、入賞作品に対し、沿線自治体の特産品や宿泊・施設利用券等を贈呈しました。

- 【募集期間】 令和4年8月11日～10月31日
- 【応募件数】 42件（入賞5作品）
- 【その他】 今後、入賞作品を紹介するポスターを各所に掲示し、室蘭線のPR、魅力の発信を行い、認知度の向上と利用促進を図ります。



【周知チラシ】



【岩見沢賞(メ-プ ルッヅ 利用補助券)】



【入賞作品紹介ポスター】

公共交通の利用促進に向けた取組みについて③

●南空知公共交通フォトコンテスト(南空知圏域地域公共交通部会※実施事業)

公共交通の利用促進を目的として、南空知で撮影された公共交通に関する写真(バス、タクシー、鉄道などを含む風景写真等)をInstagramにおいて募集しました。

下記のとおり応募があり、入賞作品に対し、南空知9自治体の特産品を贈呈しました。

※南空知9市町（岩見沢市、夕張市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町）によって構成され、南空知地域の公共交通について、広域的に連携し利用促進などに取り組んでいる。

【募集期間】 令和4年11月1日～12月20日

【応募件数】 100件

【その他】 入賞作品に対し、南空知9自治体の特産品を贈呈

[illegible]

【周知チラシ】

【投稿作品の例】